



**80<sup>th</sup>羽中体育大会  
5月30日(土)開催!**

## 体育大会準備開始!

5月7日、今年の体育大会に向けたオリエンテーションを行いました。全校生徒が体育館に集まり、担当の山本教諭から、体育大会の目標や種目、係活動のことなど、全体への説明をしました。

今年の体育大会の目標は、学校目標に沿った3つの目標です。【下図のとおり】

学習指導要領の保健体育科では「する・みる・支える・知る」として、身体を動かす(する)だけではなく、観戦(みる)、企画や運営(支える)、ルールや文化の理解(知る)を通じて、生涯にわたるスポーツライフの充実を目指すことが大切であるとされています。今年の体育大会では、自身の競技(する)はもちろん、仲間を応援(みる)したり、係活動(支える)をしたりなどを大切な要素として捉えています。運動が得意でも苦手でも、みんなが活躍して、成長できる体育大会を目指します。

体育大会の主役は、  
**羽中生一人一人**

様々な場面で活躍するのは、  
**自分たち**

自分たちの手で、力で、行動で、  
**最高の体育大会**を作り上げよう!

### 1) 学びを求める羽中生

一人一人が考えて動き、  
チーム力を高め、**みんなが  
運動を楽しめる**体育大会にする!

「する・みる・支える」

#### ☆目標達成のために…☆

- ・自分の役割や課題を理解し、主体的に練習や作戦に関わる!
- ・「どうすれば勝てるか・良くなるか」を自分たちで考え、実行する!



### 2) 言動を律する羽中生

ルールと時間を守り、  
気づいた課題を自分たちで  
**改善する**体育大会にする!

#### ☆目標達成のために…☆

- ・集合、準備、競技中のルールを守り、メリハリある行動をとる!
- ・うまくいかない点に気づき、仲間と改善策を考えて行動する!



### 3) 仲間と伸びる羽中生

仲間を認め合い、  
支え合いながら全員で  
**成長する**体育大会にする!

#### ☆目標達成のために…☆

- ・互いの頑張りを認め、前向きな声掛けをする!
- ・勝敗に関わらず、チームとしての成長を大切にする!



3つの学校目標のひとつ

# 学びを求める羽中生

→ まずは“学ぶ意味、を知る！”

人生は伏線だらけ。子どもの頃に学んだこと、興味を持ったことが、大人になってから役に立ったり、花開いたりすることがよくあります。

子どもに勉強の楽しさを伝えるにはどうしたらいいのでしょうか？

この本は、親子で勉強について考えるきっかけとなる一冊です。

表紙カバーの袖文より

右は、最近私が読んだ書籍で、ぜひ保護者の皆さんにも読んでいただきたいと思います（生徒の皆さんにも読んでほしい！）。

読んでみて大変共感できる内容でした。勉強することは「成績のため」や「高校進学のため」だけではなく、もっと広く「人生を豊かにするため」ということがとても分かりやすい表現で示されています。

この本のタイトルは誰もが一度は思ったことがあるのではないかと…。読むとこの疑問が解消できます。まずは学ぶ意味を知り、そして、学びを求める羽中生になることを期待します。

ぜひ親にも子にも読んでほしい！



この本おススメです！



### 【書籍情報】

著者：静岡の元教師すぎやま 氏

出版：KK ロングセラーズ

記事の作成に当たり、著作権等の確認のため出版社に問い合わせたところ、快くこの紙面への掲載を認めてくださいました。対応してくださったKK ロングセラーズ代表の真船社様、ありがとうございました！

4月30日、生徒大会(総会)が実施されました。前期の活動計画に対し、各学級から意見や要望、励ましの言葉など多数あり、多くの子どもたちの生徒会活動に対する当事者意識が高いと感じました。

この日の所信表明にて、生徒会長の〇〇〇絆さんから、次のようなお話がありました。

「私たちは『羽中のみんながあったか〜いと思えるような学校』という目標を設定しました。これは他の役員の公約でもある、いじりやいじめをなくすためのものです。私の公約である“フードロスなくす、”にも関連させています。4月から給食が(スクールランチ)変わり、『おいしくない』『味が変』とか残念な声があり残食の多い日があります。これは学級全体の雰囲気悪くするし、作ってくれる人やお金を出してくれる人など相手の気持ちを考えていないことが、結局いじりやいじめを平気で行うことにつながるのではないかと思います。単純にフードロスがダメだということだけではなく、なぜそれがいけないのかを考えながら、温かい学校づくりにつなげたいです。」

大会終了後、「校長の話」にて、私から次のような補足をしました。

「生徒会本部が求めるフードロス減少は、食べ残しを減らすために無理してでも食べよ



う、ということではないはず。会長の言うとおり、学級の雰囲気を悪くするような言葉を簡単に口にしないことは大切です。ネガティブな言葉は、周りの人々をイヤな気持ちにさせます。以前の立会演説会で話題になった『いじりやいじめをやめよう』ということに関係します。

食べ物をおいしくないと、みんなの前で発する人は、平気で人の悪口を言う傾向があるそうです。このフードロスの話題をきっかけに、各学級内で優しい言葉が飛び交うようになってほしいです。」

こんなやり取りがあった生徒大会での一幕でした。